

特集

食を考える

安全・安心は財産です。

東北一の長さを誇る北上川や栗駒山を源とする迫川などの豊かな水の恵みと、干拓や開墾など先人たちのためまぬ努力によって築かれた登米耕土。その豊かで広大な耕地を擁する登米市は、県内でもトップクラスの農業生産額を誇ります。粘りと甘みが魅力のひとつめぼれや、すし米に最適といわれるササニシキは、その多くが人と自然に優しい環境保全米として栽培されています。全国的に味の均質化が進んでいるといわれる中、この地域では、「はつと」「油ふ」「ずんだ」などに見られる、独特の郷土料理と加工品があり独自の食文化が築かれています。また、皆さんに安全で安心な食材を届けるために、そして食べてもらうために、関係する人たちによるさまざまな工夫や努力、挑戦が行われています。今月号では、市内で生産された豊かな食材で、郷土の食文化の継承につながる地産地消や、生涯にわたって生き生きと暮らしていく源となる食育の活動、生産者や販売者などの取り組みを紹介します。



写真：環境保全米の稲刈り作業をする大久保芳彦さん、絹枝さん夫妻（南方町）